



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「愛すること」

『泥流地帯』という三浦綾子の名著がある。一九二六年五月、北海道十勝岳が噴火した。それによって山頂付近の残雪が溶けて泥流が発生し、上富良野を中心に死者・行方不明者百四十四名、負傷者二百名、流失・破壊家屋三百七十二棟という大災害となった。その様子をつぶさに描いたものが本著である。

拓一と耕作の兄弟の畑も泥流によって覆い尽くされてしまい、祖父母が死ぬ。そこで耕作は兄の拓一に問う。「なあ、兄ちゃん。まじめに生きている者が、どうしてひどい目にあって死ぬんだべな」、「わからんなあ、おれにも」、「こんなむごたらしい死に方をするなんて……まじめに生きていても、馬鹿臭いようなもんだな」、「……そうか、馬鹿くさいか」。拓一はじつと耕作を見て、「おれはな耕作、あのまま泥流でおれが死んだとしても、馬鹿臭かったとは思わんぞ。もう一度生まれ変わったとしても、おれはやっぱりまじめに生きるつもりだぞ。じつちゃんだって、ばつちゃんだって、おれとおんなじ気持ちだべ。恐らく馬鹿臭いとは思わんべ。生まれ変わったら、遊んで暮らそうかとか、生まざるく暮らそうなどと、は思わんべな」。耕作は黙ってうなずいた。「な、耕作、母ちゃんばうんと大事にするべな」、「うん、大事にする」。耕作は深くうなずいた。

三月初旬の『純と愛』という朝の連続テレビ小説での純と愛という夫婦の会話の一コマである。妻の純は勤め先の旅館もつぶれ、それが焼け、父が死に、母も過去の記憶を失い、家族もバラバラになってしまおうという失望のきわみにあつた中で、夫の愛(いとし)にそれとはなしに語りかける。「何で色んな問題が次々と起こってくるの?」と。「俺だって分らないよ、説明できっこないよ。この世の中、ズルイ者がラクラクと生きている。いじめや戦争がなくなるならいいのはそこだよ。でも、あきらめないで生きていかないと。愛するためだよ。大切な人を愛して、愛して、愛して、笑顔をとりもどし、仕合せにするためだよ」

パウロは第二テモテ書で「たとい、わたしたちは不真実であっても、彼は常に真実である。彼は自分を偽ることが、できないのである」(二・13)と宣言する。私たちはこの世に振り回されて、ずるがしく生きようとするところがある。それは真実に生きることが馬鹿くさいと思うからだ。でも、現状はどうあれ、あきらめないで真実に生きようとするのは、大切な先祖や周りの人々、そして神を愛するためなのである。真実に生きることこそが天下、良心に恥じることはない生き方である。愛することがすべてを仕合わせにする鍵だからだ。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

